



学校だより

令和2年9月30日
練馬区立北町西小学校
校長 吉川 文章
第690号

バスの運転手さん

校長 吉川文章

9月28日の放送朝会で以下の話をしました。

4年前まで私は、毎日、石神井公園という駅の前から成増駅までバスに乗って通勤していました。今日は、そのときに時々運転をされていた運転手さんの話です。

「次は、光和小学校前です」とあらかじめ録音された「音声でのアナウンス」が流れた後、その運転手さんは、バスが止まる前に「光和小学校前です」ともう一度自分の声でも乗客に向かって声をかけられます。私は、初めて出会った時は、ずいぶん丁寧な運転手さんだと思いました。運転手さんは、乗ってくる乗客の方一人一人に「おはようございます」と挨拶をされます。私はバスの左側の一番前の席に座ることが多いので、運転手さんの顔がよく見えます。運転手さんは、いつも笑顔で挨拶をされています。笑顔を見るたびに心が温かくなります。バスを降りる人には「どうもありがとうございます」「気をつけて行ってらっしゃいませ」と声をかけられます。「曲がります。お立ちの方は、つり革におつかまりください」「しばらく停車いたします。発車までお待ちください」などの乗客の方への安全の気遣いなどもしていらっしゃいます。

25分くらいのバスの時間です。いつもは、窓の外の景色を眺めているか、ぼうっと考え事をしているかどちらかですが、その運転手さんが運転されるバスに乗った時は、運転手さんの一言、一言に心が温かくなり幸せになります。バスを降りるとき、「ありがとうございました」とお礼を言うと、運転手さんの「こちらこそありがとうございました」の言葉と笑顔が返ってきます。一度だけ、「いつもこんなに丁寧なアナウンスをされているのですか」と思い切って質問をしたことがあります。すると、「乗客の方々が、少しでも安心して安全にバスを利用し、良い気持ちでお仕事や学校に行ってくださいと思っております」と答えてくださいました。今まで、バスに乗っても、そういった運転手さんはいませんでした。そこまでのサービスをすることは、バス会社で決められた仕事の中身には入っていないのでしょうか。おそらく、運転手さんなりに考えられた心遣いなのでしょう。

「おもてなし」という言葉がよく聞かれます。お客様に接する時の日本人ならではの気遣いのことだそうです。相手のことを思いやり、どうしたら嬉しい気持ちになってくれるか、ちょっとした心遣いをする事でみんなが幸せになる。これは、学校生活の中でもきっとできることでしょう。友達とかかわるグループでの学習や活動、係仕事、給食や掃除の場面などで今日の話を生かして欲しいなと思います。「おもてなし」という言葉は、江戸時代から始まったようです。高学年は興味があれば調べてわかったことを教えてください。

このお話は、5、6年生が委員会活動で取り組んでいることとも大いに関係していますね。全校のために働く中で、確かな力を身に付けてください。

特別活動主任からも「クラブ、委員会」が再開したことは、この号でお知らせしているとおりです。「コロナ禍」の中でこそ、このようなちょっとした気遣いは「必要、不可欠な能力」と言えるのではないのでしょうか。ふだんの授業や生活を通して、子供たちに「学びに向かう力（メタ認知）」の価値づけを行っていきます。

各家庭でも学校と足並みをそろえた子供たちへの関りをお願いいたします

2 学期以降の音楽、体育の授業等に関するコロナ感染予防対策について

本校では、練馬区からの「感染予防のガイドライン」に基づき、2 学期の授業を行っております。音楽、体育等の授業につきましては、下記の通りの感染予防対策を講じて授業を進めてまいります。

1 音楽の授業について

(1) 歌唱

- ・マスクを着用し、間隔をとり、歌唱を行う。

(2) リコーダー

- ・リコーダー演奏中は、ひざに常にハンカチタオル等を準備し、演奏の合間や演奏後に、つばをふき取る。
- ・ハンカチタオルは毎時間ビニール袋等に入れて持って来て、持ち帰る。
- ・リコーダーの授業は週 1 回とし、リコーダーは必ず持ち帰る。

(3) 鍵盤ハーモニカ

- ・鍵盤ハーモニカを演奏する際は、ハンカチタオル等を準備し、演奏の合間や演奏後に、歌口のつばをふき取る。
- ・ハンカチタオルは毎時間ビニール袋等に入れて持って来て、持ち帰る。
- ・鍵盤ハーモニカの授業は週 1 回とし、授業後はホースと歌口をランチョンマットの袋に入れて、必ず持ち帰る。

2 体育の授業について

(1) 基本的な技能や体力トレーニングを行うことを原則とする。

(2) 身体接触を伴わない工夫や身体的距離を確保する工夫、運動時の発声の制限等の対策を講じたうえで、ゲームを実施する。

ex. ネット型ゲーム→ソフトバレーなど
ベースボール型ゲーム→T ボールなど

3 理科の授業について

(1) 密にならないように座席に座る。

(2) 実験の際は、人と人との間隔を取り実験を行い、観察する。

その他、教室移動を伴う授業では以下の対策を行い、感染防止に努めております。

移動前後の手洗いの徹底。
窓を開け、クラスが入れ替わるごとに換気をする。

なお、現在の状況での感染予防となっております。今後状況が変わることに伴い、感染予防についても変更が伴うことをご了承ください。

クラブ・委員会活動について

特別活動部主任 永田 友美

夏休み明けから、クラブ・委員会活動が再開しました。4年生～6年生にとって、委員会・クラブ活動は、児童が主体的に活動し、学校への貢献感を感じることでできる活動です。コロナウイルスの影響で今までできなかったため、再開を心待ちにしていた児童も多かったことと思います。

活動に制限がかかるクラブや委員会もありますが、6年生のクラブ長や委員長を中心として生き生きと様々な取り組みを始めています。例えば代表委員会は、9月15日(火)～18日(金)の期間でユニセフ募金を行いました。日本の「ユニセフ学校募金」は、日本の子供達とユニセフが、64年間ものあいだ繋いできた絆です。伝統ある活動でありながら、持続可能な世界に向かおうとする現代にこそ、求められる活動でもあります。にこやかに募金をするみんなの笑顔が素敵でした。

募金は、世界の子供達のために活用されます。たくさんのご協力ありがとうございました。今後も、児童一人一人が意欲的に各活動に取り組めるよう、学校全体で連携して進めていきます、

算数でメタ認知の力を育てる

算数少人数担当 水野 友美恵

本校では、3年生～6年生で習熟度別の学習をしています。中でも特に、学習したことの習熟に、自分から進んで取り組むことでさらに理解を深め、自分がどんなことができるようになったのか認識する力を育てていきたいと思っています。

たとえば、3、4年生では、プリントをバイキング形式などで楽しみながら取り組みます。1枚やったらずぐに答え合わせをし、どこで間違えたのかを確認して次に生かします。また、1枚の問題数は5問と少なく「粘り強く」どんどん取り組むことができるので、達成感を味わうことができるようにしています。

5、6年生は、先にまとめのプリントに取り組み、2枚目からは自分がさらに力をつけたい分野に特化したプリントを自分で選び取り組みます。算数の応用の力をみにつけるだけでなく、苦手な問題が解けた「わかった」を実感することができます。また、45分間を自分でプランニングして学習に取り組む力「調整力」も身に付けていけるようにしています。

「わかった」「できた」という嬉しい経験をたくさん積み重ね、算数を楽しみ、学習したことを生活の中で生かしていこうとする気持ちを学校全体で育てていけるよう支援していきます。

特別支援教育コーナー

ことばの教室担当 斉藤 桂子

本校では、毎年、NPO法人翔和学園学園長 伊藤寛晃先生にご講演いただき、教員の校内研修会を行っています。今年も、児童理解や指導・支援方法の一つとして、「行動理由4つのパターン」を教えてくださいました。子供の問題行動(大人から見て望ましくない行動)には理由があり4つに分けられる。①見て見て(注意喚起)②言うとおりにして(要求)③やだやだ(逃避)④快感(自己刺激)これら4つのいずれかに当てはめると、改善策をたてやすくなるすなわち、理由を理解した上で取るべき行動を伝えることが大切であるとのこと助言でした。

ご家庭でも、「ゲームばかりやってないで、サッサと宿題をやりなさい!」「こんな忙しい時に、宿題を教えるって欲しいなんて無理!」などと言いたくなる場面はありませんか。子供の立場で理由を探してみると、「おやつと一緒に食べよう。」「おいしかったね。今日の宿題はたくさんある?」「自分から宿題に気付いたね。」「あと3分待てるかな。」など、お互いのイライラを減らしつつ、子供の行動を切り替えるきっかけとなることばが見つかると思います。

特別支援教育は、特別な大それたことではなく、どこの家庭でも誰にでもできる、「子供の思いを理解し、子供の行動を変えていく支援」なのだと思います。